

平成24年度新居浜市立図書館協議会 記録

1. 日時：平成24年7月26日（木）15時30分～16時45分
2. 場所：新居浜市立別子銅山記念図書館 多目的ホール
3. 出席委員：秦委員、真鍋委員、小田委員、村上委員、野間委員、  
畑山委員、中本委員、渡辺委員、田宮委員
4. 欠席委員：烏谷委員、内田委員
5. 事務局：坂本館長、高科副館長、和田副館長
6. 傍聴者：0名
7. 会議概要

各委員に任命状授与

会長 秦博文委員 副会長 真鍋曜委員 に決定

(1) 平成23年度事業報告について

(高科副館長) 平成23年度事業報告説明 資料P-1～P-4

(畑山委員)

別子銅山の講座を実施していますけれど、講師はどういう方ですか。

(高科副館長)

平成23年度は元別子銅山文化遺産課長であり、現在図書館の職員である坪井が3回講師を務めました。今年度は坪井と広瀬歴史記念館久葉館長、別子銅山文化遺産課の横井課長に講師をしていただいております。

(秦会長)

別子銅山の講座は60名くらい参加されていますが、だいたい同じメンバーですか。

(高科副館長)

だいたい同じ方が受講されています。

(秦会長)

曜日や時間帯はいつ開催されますか。

(高科副館長)

土曜日の10時から11時30分となっております。

(田宮委員)

学校支援推進費ですが、これは小学校だけが対象なのですか。中学校はこういうことは必要ないということですか。

(坂本館長)

平成20年度から学校支援員4名で、まずは小学校からということで始めました。16校あり、まずは本の配置等提案するなど環境整備から始めました。その中で中学校も6校ぐらい環境整備して欲しいという要望がありましたので、その中学校については、環境整備を行いました。支援員が4名しかいない中で、全部の小中学校を回ることはできないので、学校側から、図書館に対して要望のある学校について行っております。環境整備について小学校はだいたい終わったので、その後読書の時間や授業に対して、資料を提供したり、教師と一緒に支援をしたりしています。

(田宮委員)

移動図書館についてですが、小学校13校、中学校2校で、だいたいこれで市内まんべんなく回られていますか。また、公民館も行かれていますか。

(坂本館長)

公民館は以前は行っていました。今は、ステーションの中心が小学校になり、地域の方も小学校で利用できるような形になっています。ただ、こちらの別子銅山記念図書館の近くの小学校や角野分館の近くの小学校には行っていません。

(田宮委員)

小学校の利用者は多いですか。

(坂本館長)

小学校は昼休みに行くようにしているので、利用が多くなっております。

(秦会長)

学校図書館支援事業については各小学校好評です。限られた予算枠の人数の中でやりくりし、努力されていると思うのですが、中学校までは難しいところがあるかもしれないですね。移動図書館については、子供たちも楽しみにしていますので、

これからも是非続けていただけたらと思います。

(村上委員)

先ほどの学校図書館支援員のことですが、前にいた小学校にも来ていただき、学校図書館も様変わりして、本当に使いやすくなり、子供たちからもとても好評でした。市全体では知らない方もいると思われるので、もっとこの様な事業をされているのを広めて、どんな学校からも要望があれば来ていただいて、推進していただくと大変助かると思います。

(坂本館長)

昨年度、学校支援の事例集などの冊子を作成し、各学校に配布しました。こういう授業の時にこの様な資料が欲しい等相談いただければ、各学校が重なる部分もありますが、調整しながら支援していきたいと思いますので、相談していただければと思います。

(小田委員)

移動図書館についてですが、小学校、中学校とも昼休みに来ていただいているのでしょうか。

(坂本館長)

今、巡回場所が33か所で、回る日数が週3日間です。1日に5ヶ所回っており、すべての小学校、中学校に行くわけにはいけないので、市内の全域に図書館サービスがいきわたるように振り分けています。中学校は東中学校と南中学校に行っている状況です。昼休みに行っているのは小学校で、中学校はステーションの配置により決めており、昼休中ではありません。何年間に一度はステーションの見直しはしています。

## (2) 平成24年度の事業実施について

(和田副館長) 平成24年度事業実施について説明 資料P-5～P-7

(田宮委員)

うれしく思ったのが、出前講座で高齢者福祉施設へ行かれているのを書かれておりました、いいことだなあとと思います。私も施設へ行くことがありまして、ある人がこの施設に本があまりないので本が読めないとおっしゃっていて、図書館の基

本方針の中に移動図書館が高齢者福祉施設にも移動図書館が入りますよということが書かれているので、いいことだと思います。昨年度も福祉施設へ行かれており、今年度も行かれるということで、お年寄りも大事にされているということで、すごくうれしく思っております。どの程度行かれる予定か教えていただけたらと思います。

(坂本館長)

出前講座につきましては、ボランティアと共同で行ったり、ボランティアさんが単独で行ったりしています。今回委員さんになられています中本さんは回転木馬のボランティアとして、高齢者施設や児童クラブへ行っています。移動図書館につきましては、今ハートランド三恵に行っております。また、入院患者のために十全総合病院へも行っております。学校としては、県立新居浜特別支援学校へ行っております。限られたステーションの数ですので、決める時にもいろいろな施設にも問合せをし、駐車場の関係や時間帯の都合もあり、今行っているのは、このステーションとなっております。今後、要望や利用状況を見ながら変更するということがございます。あと団体貸出という形で高齢者施設の方がこられて1回1ヶ月100冊以内で貸出をしております。

(畑山委員)

この図書館の利用される方々はどのような人が多くて、本はどのような形で購入し、どういうところを充実させていくのか教えてください。

(高科副館長)

図書館資料は全体で現在32万6104冊ございます。本館、角野分館、移動図書館という形で本を購入しており、前年度1年間で1万2355冊購入等しております。全体的に読まれている分類や蔵書構成を考えながら、図書館司書が本を選択して購入しています。なるべく要望のある本は購入するように努力し、購入できないような本につきましては、他の図書館から借りるなど、できるだけ提供できるようにしております。H23年度の貸出状況につきましては、本館全体で58万7913冊の貸出、移動図書館で5万9795冊、角野分館で4万6659冊の貸出があり、合計で69万4367冊の貸出がありました。文学関係、子供関係の本が多くなっております。平成22年度でみると借りられる方の構成は、全体的に一番多いのは小学生の7歳から12歳が全体の18%の利用です。次に多いのが、60歳から69歳の方で17%、あと30代から50代と続きます。また、ブックスタート事業を始めまして、0歳から6歳の利用も多くなりました。一方、16歳から22歳が少なくなっております。ヤングアダルトから青年層について図書館離れがあ

り、その利用を増やしていくことが、図書館の一つの課題だと思います。

(畑山委員)

今年度の事業内容をみると、子供や高齢者などの利用の多い方の事業が充実していますが、今言われました、真ん中の層の人の事業も考えていただけたらと思います。

(3) 雑誌ポンスー制度について

(和田副館長) 雑誌スポンサー制度について説明 資料P-9~P-11

(秦会長) スポンサー名の表示は雑誌に直接張るのではなく、カバーに張るのですね。7月から始めたとのことですが、現在のスポンサーの状況はどうですか。

(和田副館長)

雑誌の最新号には雑誌カバーをつけておりますが、その雑誌カバーの表にスポンサー名を表示し、カバーの裏側にスポンサーの広告を載せるようにしています。7月から実施しておりまして、ポスターやチラシ、ホームページで広報しております。また、8月号の市政だよりやインフォにいはまで募集を行う予定になっており、今後も様々な広報により呼びかけてまいりたいと思います。現在の状況は確定しているスポンサーはまだありませんが、数件問合せがあり、話を進めている状況です。委員の皆様もスポンサーに関する情報などありましたら、是非図書館に連絡していただけたらと思います。

(真鍋副会長)

商工会議所では会員の方に対して、現在広報をしております。どの事業所も広告宣伝の予算が厳しい中ですが、個人的には、普通にちらしに広告をうつだけではそれほど効果あるという時代ではなくなっていると思いますので、健康とか環境など、大事だと思われる方がおりますので、例えば健康に関心のある事業者が、図書館の健康に関する雑誌とかにスポンサーになっていただくというのは、とてもいい試みだと思います。

(4) その他について

(秦会長)

その他として、図書館全体に対しての意見や情報交換等がありましたらお願いし

ます。

(秦会長)

図書館の入口に図書館の行事が多く書いており、とても楽しい行事が並んでいるなと思います。図書館の多くの行事をこなすには大変なご苦労があるのではないかなと思うのですが、この様な行事をする上でのお困りのこととかないですか。

(坂本館長)

行事をするにあたって、幼児関係の行事は多くの人が集まりますが、小学校の中学年くらいから中学生くらいになりますと、なかなか集まりが悪いです。お話会も小学生向けはボランティアさんにしていただき、声かけはしていますが幼児や乳幼児に比べると少ないです。今後、この多目的ホールもあり、図書館の主催だけでなく、市民の方がどなたでも参加できる催しに対しても無料でお貸ししていますので、ホールの活用も考え進めてまいりたいと思います。

(田宮委員)

図書館の利用される方は退職なさった方、65歳以上の方が多いいのはよく分かります。私もよく孫と一緒に来るのですが、子供たちの席はたくさん確保されていますが、大人の座る席は少ないと思います。もうちょっと座席の確保ができないのですか。書架の横に椅子を置いています、照明が暗く、もう少し明るく読めないかと思ひます。それと、高齢者の方は足を延ばして座っていて、くつろぎの場になっていると思ひますので、そういう方のためにゆったりと座れる場所が欲しいです。多目的ホールも利用していただいて結構ですと言われましたが、ここのホールはいつも開いているのですか。多目的ホールも孫と来たときに解放していただいたらと思ひます。

(館長)

多目的ホールは使用していないときは開いていません。

照明が暗いということについては、平成4年にできた時はもっと暗かったので、照明はずいぶん加え、椅子も当時より増やしていますが、これだけの面積で限りがあります。ただ、夏休み等に対しては、多くの利用者がおりますので、第2会議室を中心に解放しております。去年は多目的ホールも読書室として開放していましたが、節電の関係で多目的ホールを1日開けると電気代が1万円以上かかるので、今年度は第2会議室を中心に開放しています。南側の親子ふれあい室は常時開放し、利用していただいております。

(野間委員)

市PTA連から、9月2日10:00からこの多目的ホールで県の委託事業として、図書の推進事業を行います。小学校の司書教諭による講演を行いますので、ぜひ皆さんも参加をお願いします。もっともっと本に親しんでいただいて、中学校から二十歳ぐらいの層まで、広めていきたいと思います。

(中本委員)

貴重な古い絵本で破れていたり、修理している本など、絶版になっている本もあると思いますが、新しく買い替えて欲しい。場合によってはアマゾンからの購入を考えて欲しいという意見がありました。

(高科副館長)

新居浜市の図書購入については、新居浜市の契約業者から購入しなければなりませんので、インターネットからの購入は難しいのが現状です。手に入るものについては、買い替えなど検討させていただいたらと思います。

(秦会長)

生涯学習の中での図書館の役割はとても大きなものがあります。この協議会で引き続き前向きに問題点を出し合って、いい知恵を出し、よりよい図書館にさせていただいたらと思います。

閉会のあいさつ

真鍋副会長